

【お報せ】 新潟ロータリークラブ後援 社会奉仕事業
平家琵琶貳佰句通語聽會



新潟RC会員
高橋 秀樹

此度、新潟ロータリークラブの御後援により、
「平家琵琶貳佰句通語聴會」を
約1年半にわたって行うことになりました。

この事業は
消失の危機に瀕した伝統芸能の保存、継承、一般公開を行う
ことにより
社会に奉仕するという意義を有します。

平家琵琶とは

『平家物語』を、専用の琵琶
(平家琵琶)の合いの手、伴奏で
語る 伝統芸能です。

13世紀、鎌倉時代に始まり、
約800年にわたり継承されて
きました。

盲人だけでなく、晴眼者も
演誦を行います。



しかし、

現在この芸能について『平家物語』全句継承しているのは前田流のみ。
前田流全句伝授されているのは、現在、全国で16人。
演誦活動を行っているのは、6、7人。

=消失の危機に瀕している伝統芸能

そこで、

当クラブ会員**安藤栄寿様**の**真宗大谷派隣陀山勝楽寺様**にて
『平家物語』全句演誦を公開実演します(全61回)。

演誦者：前田流平家琵琶鈴木孝庸門下 高橋秀樹



本年五月十三日

東京都墨田区江島杉山神社での奉納演誦
『平家物語』 卷第二「卒都婆流」

平都婆流

二十五年十二月吉日



第1回

日時 令和5年11月21日（火曜日） 15:00

場所 真宗大谷派隣陀山勝樂寺

※駐車場利用については、園児保護者の方々の利用時間帯につき、
ご遠慮ください。

会費 無料

演目 平家琵琶秘曲「一部の琵琶」※秘曲は「祇園精舎」その他の特別な句の前奏となりますので、
第2回目からは普通は行いません。

『平家物語』巻第一「祇園精舎」から

「我身の栄花」まで

第2回以降、毎週火曜日15:00から

※厳寒期は事前にお報せの上開始時刻を繰り上げることがあります。

※年末年始、年度末年度初め、盛夏期間は事前にお報せの上お休みします。

語りものの芸能の伝統は、それを聴く人と語る人の両方がいることで成立し、継承されてまいります。

つまり、**聴く人の存在が伝統を支えていると言えます。**

演誦の途中からの御来場も、途中での御退席も一向に構いません。
また、演誦中、うたた寝を楽しまれるのも歓迎します。

このような企画があることを、たま～～に思い出して、ご都合の叶うとき、ふらりと御来場してくださるだけで結構です。約一年半後に第200句目の演誦を終えるまで、**息の長い緩やかな応援を賜うことができれば幸いです。**

また、周囲に関心がおありの方がいらっしゃいましたら、是非ともお伝えください。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます



平曲
「慈心坊」

本年三月十二日
新潟市民文化会館 能楽堂 での演誦
『平家物語』 卷第六「慈心坊」